

在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和5年9月26日（火）

18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 報告、情報提供

① 新見市より

② 「新見福祉大会」のご案内

③ 「在宅看取りを考える会」について

④ 研修後報告

- ・ 9/ 9(土) 令和5年度第1回認知症研修会(一般市民対象)
「認知症の方の家族の話を聴こう」

⑤ 今後の研修会の予定

- ・ 9/28(木) 岡山県医師会 移動会長室事業 「フレイル」
- ・ 11/30(木) 市民研修会 人生会議の普及啓発
- ・ R6.1/未定 令和5年度第3回多職種連携・人材育成研修会
「糖尿病と口腔衛生(テーマ未定)」
- ・ R6.2/22(木) 令和5年度第2回認知症研修会(専門職対象)
「認知症の治療薬について」

4 協議事項

- ・ 認知症ケアパス普及啓発について

次回開催日

令和5年10月31日（火）

令和5年9月吉日

各位

(新見市在宅医療・介護連携支援センター受託団体)
一般社団法人新見医師会 会長 太田隆正
(公印省略)

「在宅看取りを考える会」についてご案内

謹啓 時下ますます御健勝のこととお慶びを申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月14日に在宅看取りに関わる医療従事者や消防署職員の方等にお集まりいただき、在宅看取りにおいての各施設や事業所の実情や課題などの話し合いをしました。それぞれの立場で改善していかなければならないことや、他の専門職や一般市民の方々へお伝えしていかなければならないことなど、多くの課題が出されました。これを受けて、今後もこの地域における在宅での看取りについて、多職種が連携して継続的な話し合いや取り組みが必要だと考えております。

つきましては、下記の通り第2回目の「在宅看取りを考える会」の開催を計画いたしましたので、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご参加の程よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 1 日 時 | 10月18日(水) 18:30~20:00 |
| 2 会 場 | 介護老人保健施設くろかみ 研修室 |
| 3 内 容 | 「在宅看取りに係る在宅医療連携」 |
| 4 対 象 | 在宅看取りに関わる医療従事者 |
| 5 参加方法 | 別紙参加申し込み用紙にご記入後、下記まで FAX にてお申し込みください。 |

以上

【問い合わせ先】

新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく(難波)

〒718-0003 新見市高尾2306-5

TEL: 0867-88-8270 / FAX: 0867-71-0309

MAIL: mansaku@kurokami.jp

新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく 宛

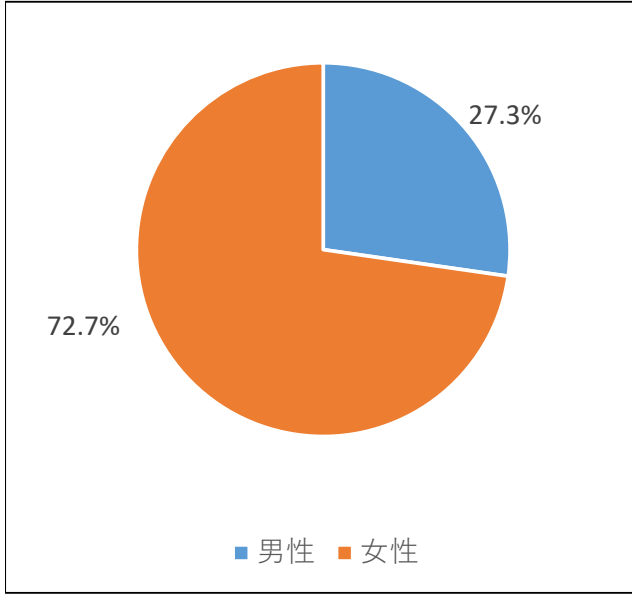
FAX 71-0309 (送り状なしでこのまま FAX をお願いします。)

令和5年10月18日に開催する「第2回 在宅看取りを考える会」に参加します。

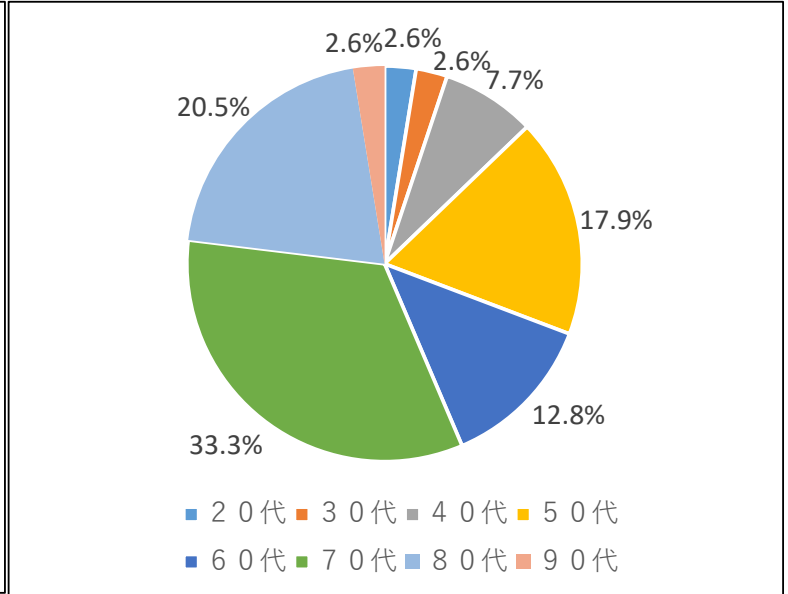
所属名	
参加者名	

認知症市民研修会 アンケート結果（令和5年9月9日 新見市役所南庁舎 大会議室）

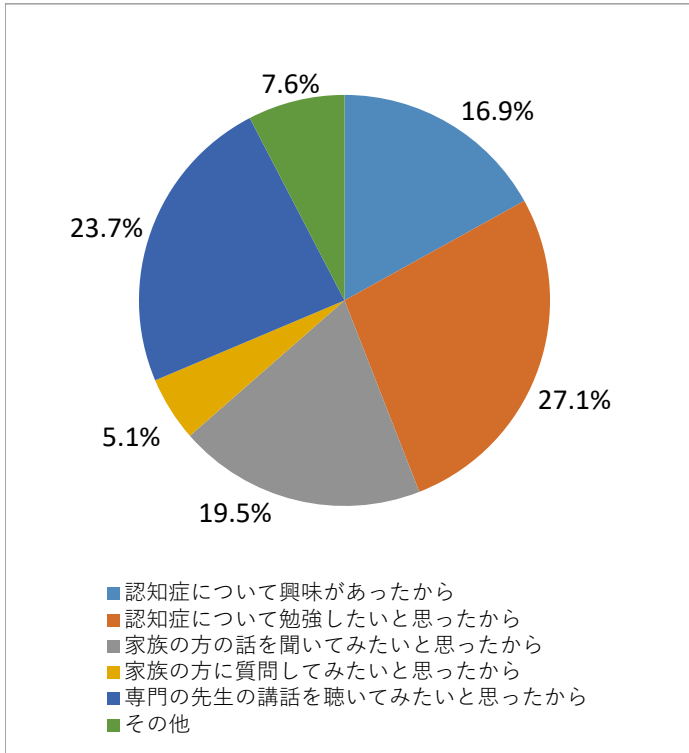
1. 性別



年代



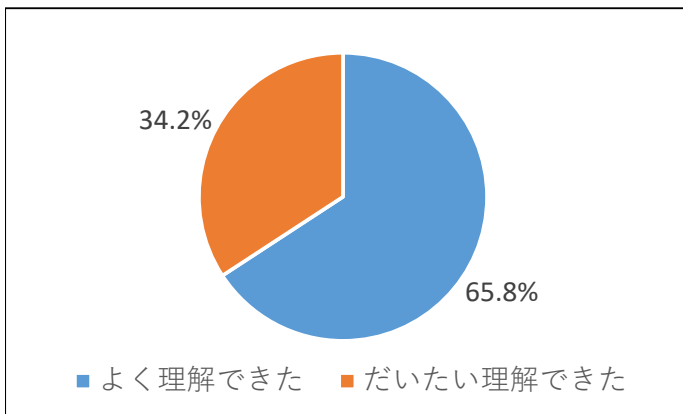
4. 研修に参加された理由



<その他の理由>

- ・今年8月に病院で私の夫(67歳)が軽度の認知症と言われ、2人で参加できることはしていきたいと参加した。
- ・サポーターのスキルアップ
- ・母、祖父、祖母と家族で3人認知症になって大変さを知った。他の方がどのようにされているのか話を聞いてみたかった。
- ・何回でも話を聞いてみたいから。すべて勉強になる。
- ・私自身認知症が始まっているから。
- ・ケアマネさんに勧められたから。
- ・認知症カフェに取り入れるための勉強。
- ・義母(96歳)の介護をしているから。
- ・生前母が認知症だったが当時無力だった。今こそ社会や人のために役立ちたい一心できた。

5. 研修の内容についての理解



6. 講座への感想、講師の竹上さんへ伝えたいこと

- ・元気をいただきました。また前向きに考えていこうという気にさせていただきました。
- ・早く気付いていたらどうにかなったのではと言われた時同じ気持ちで涙ぐみました。
- ・介護をもっと愉快地楽しく、自分たちもこの気持ちでやってみます。
- ・開き直って地域の方々に伝えて、助けてもらえるところはお願ひしながら生活していこうと思います。
- ・夫は自営業ですが車の件、仕事の件と課題は山積みですがぼちぼち生活していこうと思ひました。本当にありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。分かりやすく参考にさせていただきます。心も軽くなりました。
- ・私の母は認知症ではないですが昭和50年に脳梗塞になり、平成8年に他界するまで介護等したことがあり、竹上さんの講話がよく理解できました。
- ・オレンジの会の会員としていいスキルアップになりました。ありがとうございました。
- ・実体験に基づくお話をたくさん聞いて勉強になりました。まだ自分の心にゆとりがなくて大変なこともあります。今日のお話を聞いて竹上さんのようになれたらいいなと思ひました。
- ・家族が認知症で私が介護しているのでこれからの介護に役立てます。
- ・ピンチをチャンスに変え奥様に向き合い前向きに過ごされていたことに感動しました。奥様への深い愛情を感じます。
- ・介護経験者として同じ思ひも多々ありました。これからもますますお元気で過ごしてください。ありがとうございました。
- ・大変な介護生活を送ってこられたと思ひますが、「楽しく明るく」と言われたことは心に残りました。
- ・今こうして話をし、体験を聞けることで、私たちも前向きに過ごせるきっかけとなります。
- ・認知症介護者ご本人の生の声（実体験）を聞いてよかったです。
- ・時間をかけてあげることや、同意してあげることなど自分はできていないことが多いと感じました。
- ・親がデイサービス先でカラオケをしていると聞いたので母の年代の曲をかけてあげることなどはできているのかなと感じました。
- ・日々苦勞されている様子が手に取るように理解できた。もっと日々の生活の様子がお聞きできたらと思ひました。
- ・意見交換では市民の色々な思ひを聞くことができよかったです。竹上さんの実体験を通じてのお話心に刺さりました。
- ・楽しんでこんな機会はないと思ひ取り組もうと思つた。社会とのかかわりが多い方がいいみたいですね。
- ・認知症であることを隠さず周囲に知らせる勇気が結果大切なことであることに感銘を受けた。
- ・ほどほどにという言葉の大切さ、出来ないことに拘らないこと、自分のこと相手のことを大切にする。
- ・認知症の母の介護をしていたことがあるのでよく分かりました。介護は大変ですが近所に助けを求めてもよいということが分かりました。
- ・夫が妻を介護しているのはとても大変だと思ひます。私は義理の母を介護しているのでお話を聞いてとてもよかったです。
- ・認知症は高齢者に特化したものではなく、もはや社会問題で国へは罹患者(家族)への給付金や手当を検案願ひたい。竹上さんの軽妙なトークは分かりやすく楽しく最高だった。竹上さんはとても紳士的で介護も苦とせず私も励みになった。
- ・私はかねがね家族に迷惑をかけてはいけない、認知症は面倒な病気であると聞かされ予防してきた。自分は一番にかかってはいけないと念じ、予防のために一つでも勉強しようと参加しました。
- ・今は奥様が施設に入られ少しは自分の時間が持てていると思ひますが、今一番にしたいことをされて奥様と一緒に楽しんでください。
- ・明るく介護されているお話を聞かせていただき反省しています。地域の人たちの役に立っていけるよう今後も勉強していきたいと思ひます。
- ・奥様の介護の貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。一緒に寄り添って介護したり、周りの人に助けってもらったり、試行錯誤しながらのエピソードに勇気づけられました。
- ・認知症への理解を持つことで、そういう状況になったときに気持ちに余裕が持てる気がしました。

